

第6回在宅医療・介護連携推進に係る多職種合同意見交換会実施報告

1 目的

地域包括ケアシステムの構築における重要な要素である在宅医療・介護連携について、地域の医療機関・介護関係者等が参画する意見交換会を開催し、在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、解決策等を協議するとともに、医療、介護関係職種の研修の場とする。

また、この意見交換会は地域支援事業における包括的支援事業の一つである在宅医療・介護連携推進事業として行うものである。

2 実施結果

(1) 実施日・時間 平成31年1月31日(木) 19:00～21:00

(2) 参加者 総勢97名

市内医療 16人		市内介護 80人		その他 1人	
医師	0人	行田ケアマネ連絡会	14人	行田市在宅医療・介護連携推進協議会	1人
歯科医師会	0人	行田ヘルパー連絡会	7人		
薬剤師会	3人	短期入所事業所団体	9人		
医師会(医療従事者)	13人	行田通所介護連絡会	9人		
		行田訪問看護入浴連絡会	5人		
		行田リハビリ連絡会	10人		
		地域包括支援センター	17人		
		特別養護老人ホーム	6人		
		有料老人ホーム	3人		
		老人保健施設	5人		
		軽費老人ホーム	2人		

・市職員 7名

高齢者福祉課長、地域包括ケア推進幹、職員5名(春日、守、代、江袋、橋本)

・機能強化型地域包括支援センター職員 6名(内、3名は参加者に含む)

(栗原、脇、松橋、中畑、北原、浅見)

(3) 会場 行田市商工センター ホール

(4) 内容 「第6回 在宅医療・介護連携推進に係る多職種合同意見交換会「認知症を支える多職種連携～症状の変化に合わせて～」(事例から学ぶ多職種連携) <プログラム>」のとおり

①ペア、グループワーク 初期症状

②講義 「認知症の病態とBPSD、その医療対応について」

講師 行田中央総合病院院長、行田市認知症初期集中支援チーム専門医、認知症サポート医 川島 治氏

③ペア、グループワーク 中重度症状

(5) アンケート結果 回答数 96

①職種（重複あり）

医師	1人 (0.1%)	歯科医師	0人 (0%)
介護支援専門員	25人 (26.0%)	ソーシャルワーカー	3人 (3.0%)
介護福祉士	17人 (17.7%)	理学療法士	3人 (3.0%)
作業療法士	3人 (3.0%)	機能訓練指導員	0人 (0%)
看護師	16人 (16.7%)	薬剤師	3人 (3.1%)
管理栄養士	0人 (0%)	保健師	2人 (2.1%)
歯科衛生士	0人 (0%)	介護職員初任者	1人 (0.1%)
施設管理者・事務	11人 (11.5%)	生活相談員	7人 (7.3%)
その他の職種	7人 (7.3%)		
不明	0人 (0%)		

②本日の合同意見交換会の勤務状況についてお尋ねします。

項目	数	%
業務内として出席	57	59.4%
業務外（プライベート時間）で出席	38	39.6%
不明	1	1.0%
合計	96	100%

③ 本日の内容

	十分理解できた	理解できた	どちらでもない	あまり理解できなかった	理解できなかった	不明
【ペア・グループワーク】初期症状	33 (34.3%)	55 (57.3%)	6 (6.3%)	1 (0.1%)	0 (0%)	1 (0.1%)
【講義】 認知症の病態とBPSD、その医療対応について	46 (47.1%)	44 (45.8%)	5 (5.2%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0.1%)
【ペア・グループワーク】中重度症状	35 (36.5%)	51 (53.1%)	5 (5.2%)	2 (2.1%)	0 (0%)	3 (3.0%)

⑦ 在宅医療・介護連携推進協議会では、合同意見交換会の他、今後、研修会も開催していく予定です。研修会等の開催時間について、出席しやすい日程についてお尋ねします。

【曜日】

項目	数	%
月～金	69	71.9%
土曜日	7	7.3%
日曜日	1	1.0%
不明	19	19.8%
合計	96	100.0%

【時間】（複数回答）

項目	数	%
午前（9：30～12：00）	2	2.0%
午後（13：30～17：00）	49	48.5%
夜間（18：30～21：00）	28	27.7%
不明	22	21.8%
合計	101	100.0%

【研修の日程に関する意見】

- ・午前・午後では参加出来ない事もあるかもしれないが、業務として参加出来るならば、出来る限り参加したい。
- ・出来ましたら、月末月初以外でお願いしたいです。
- ・サービス事業所の事を考えると、夜間が良いと思います。
- ・リーダーばかり研修に出ているので、他CWも出席してもらいたい。→日中の時間になら行きやすいと思う。
- ・18:00～20:00の時間帯だとお良いのではないか。
- ・夜間は厳しい。
- ・夜ですと、お子さんがいる職員が参加できない為。
- ・出来れば中旬にお願いしたい。
- ・商工センター駐車場数少ない。(特に今の時期) miraiの方が駐車場多いのでは。市役所に置いて歩いて来るのは寒い。本日は雨降っているし！暖かい日であれば良いが…
- ・金曜夜だと有り難い
- ・金18:30～ 土13:30～17:00
- ・終了時間を20時くらいにして頂きたい。

(以下の項目については別添)

④ 本日の講義で、印象に残っていることや、感じたことがありましたらご記入下さい。

⑤ 今後、在宅医療・介護連携に関して、現在、困難を感じていることはどんなことですか。
(例：お互いの顔が見えない、他の職種とのコミュニケーションの取り方がわからない、使用している言葉が違う、など)

⑥ 在宅医療と介護がよりよく連携していくために、必要と感じているものがありましたらご記入下さい。

⑧ 「在宅医療・介護の連携推進に係る多職種合同意見交換会」又は「行田市在宅医療介護連携協議会」や市への要望がありましたらご記入下さい。

【まとめ】

グループワークに関する好感度が高く、KJ法による検討は連携の可視化もできたことで、多職種連携の理解が得やすいと思われる。また、事例によるグループワークは参加者にとっても理解しやすい内容であり、症例におけるテーマを明確にしてワークを進めると、より連携がイメージできると思われる。次回は、嚥下困難や独居などのテーマで行えると、関係する職種や助言に入る職種の広がりが期待できる。

顔の見える関係においても、講義形式の研修より関係性が深まるアンケート結果が出ている。

今回の合同意見交換会の参加に対し、半数以上が業務内として出席しており、事業所の配慮がうかがえ、事業所側が医療と介護の連携は業務として必要であると考えていることが推測できる。

研修会の開催については、月～金で午後開催の希望が多いため、研修会開催する場合は検討が必要である。しかし、医療、介護の職種はシフト制で勤務していることも多く、同じ内容の研修を別の時間帯で複数回開催することも必要と思われる。

